

## 集まって話し合い、支援の輪を広げよう！

私たちは、阪神・淡路大震災の救援・復興を通じ、公的支援を求める運動を広げ、現在の被災者生活再建支援法の制定へ奮闘してきました。「すべての被災者に公的支援を」の運動を今回は、東日本大震災に適用させる時です。政治や経営、くらしを語り、がんばりましょう。

### 53人分の募金袋が県連へ（淡路）

淡路民商から、募金の送金とあわせ、封筒が送られてきました。

励ましの言葉には、「神戸、淡路の震災の時、助けてくれたので少しですが、何かしたいと思って」、「1人でない、絆を大切に。朝がこない日はない。希望を持って」など、多くの人の心のこもった一言が書かれています。

### 役員先頭に募金を訴えて（明石）

明石民商の大久保南支部では、古園会長を先頭に、会員訪問で支援募金を訴えています。会員用と班用の募金袋を活用。すべての会員から支援募金を集めることをめざしています。また、理容店を営む若い会員は、「チャリティー散髪500円」を打ち出すと、1日で100人が来店。「おつりを募金箱に入れてくれる方もいて」と、話してくれました。

### 寒いからあたたかい靴下を！

（加古川・加古）

加古川市は地場産業として、靴下産業がさかんです。加古川・加古民商の長谷川久剛さんと哲男さん兄弟は、「東北は寒いし、あ



あたたかい靴下の方がいい。足のあたたまる靴下を」と、1440足、倉庫から支援物資として、提供して頂きました。本日、車につんで、被災地へ持っていきます。

### 本日夜出発！

### 支援物資の積み込み完了！

本日、午後10時半出発で、宮城 岩手 福島の順番に訪問し、大船渡や石巻などの民商を訪問し、支援物資を届けます。また、支援募金袋に書かれた一言はコピーし、『心ひとつにがんばろう』というメッセージとともに、持参するようにしています。支援物資の積み込みは完了！いよいよ出発です。

### 予約キャンセル、3月の売上激減

灘区で飲食店を営む会員（法人）は、震災後の自粛ムードで、予約キャンセルが相次ぎ、3月の売上が激減しました。税務調査が入っていましたが、「それどころでない」と税務所に連絡。連絡した翌日、調査中止の連絡が入りました。

事務所に募金箱（須磨）  
須磨民商では、阪神・淡路大震災で助けてもらった。今度は私たちがと、奮闘して募金箱を設置。原発に対して「これでいいの」と、情報も発信しています。



集まった募金は、兵商連に送ってください。

## 全商連緊急情報を読み合わせよう！

このニュースは県連三役、民商事務所のみを送付しています。県連役員・民商役員への送付はお願いします。